

[活動記録②]

2017 ギラヴァンツ北九州市民激励会 第1部
「ギラ番記者が読み解く 2017 シーズン」開催記録

1. 開催概要

- 日時： 2017年3月4日(土) 15:00～16:00
- 会場： ミクニワールドスタジアム北九州 記者会見室 (北九州市小倉北区)
※スタジアムの大型映像装置で生中継
- 主催： 北九州市立大学 地域戦略研究所
- 定員： 120人(要事前申込)、入場無料
- 当日来場者数： 150人
- スケジュール：

14:30 開場

15:00 開会

挨拶： 北九州市立大学副学長・地域戦略研究所長 柳井 雅人

15:02～16:00

- 第1ラウンド： 2017シーズンのギラヴァンツ北九州の見どころ・課題
- 第2ラウンド： 特に注目する選手3人！
- スペシャルトーク： スペシャルゲスト 桑原裕義氏に聞く！
- 第3ラウンド： 2017シーズンJ3最終順位予想

16:00 閉会

※16:15～17:30 第2部 2017ギラヴァンツ北九州市民激励会
(主催：ギラヴァンツ北九州を支援する市民会議)

○登壇者：

【登壇者】(五十音順)

- ・浅野 翔太郎 氏 (毎日新聞小倉報道部記者)
- ・上田 真之介 氏 (J'sGOAL (Jリーグ公認ファンサイト)ライター)
- ・篠原 けんじ 氏 (J:COM「ギラ☆channel」ナビゲーター)
- ・諏訪部 真 氏 (西日本新聞社北九州本社記者)
- ・中村 歩 氏 (NHK北九州放送局ディレクター)

【スペシャルゲスト】

- ・桑原 裕義 氏 (サッカー解説者、元ニューウェーブ/ギラヴァンツ北九州選手・主将)

【ファシリテーター】

- ・南 博 (北九州市立大学地域戦略研究所教授)

2. シンポジウム内容

(1) 開会

■北九州市立大学地域戦略研究所教授 南 博：

まもなく開会いたしますが、本日この場でお話しする内容は撮影をいたしましてミクスタの大型ビジョンで流すことになっておりますので、ご了承いただければと思います。

それでは、定刻になりましたので、ただいまより、「2017年ギラヴァンツ北九州市民激励会」の第1部「ギラ番記者が読み解く 2017 シーズン」を始めさせていただきます。まず初めに、主催者を代表いたしまして北九州市立大学の柳井雅人副学長よりご挨拶申し上げます。

■北九州市立大学副学長・地域戦略研究所長 柳井 雅人：

こんにちは、柳井と申します。今日は天気も良く、ギラヴァンツ北九州、それからきれいなミニワールドスタジアム北九州の門出を祝しているような天気ではないかなと感じております。今日は、ギラ番記者が読み解く 2017 シーズンというタイトルで、個人的にも楽しみにしておりました。

主催者としては、地域戦略研究所とギラヴァンツ北九州がどういう関係になっておるかとお申しますと、2008年度より研究・調査という観点からギラヴァンツさんをサポートしようと活動して参りました。また、本学の学生が毎年、インターンシップでお世話になっておりまして、以前からとても交流があります。その文脈から、今日は主催ということで、この会となっております。

器が人を育てるといことはよく言われますが、このチームも器が立派になり、それにふさわしい、それを越えるような活躍をしていただけるように祈りまして開会の挨拶とさせていただきます。



(2) 第1ラウンド： 2017シーズンのギラヴァンツ北九州の見どころ・課題

■北九州市立大学地域戦略研究所教授 南 博：

それではさっそく、「ギラ番記者が読み解く 2017 シーズン」の中身に入って参りたいと思います。この会は来週3月12日に開幕を控えておりますJ3を北九州サポーターのみなさんで楽しみに迎え、盛り上がりという趣旨で開催させて頂いております。大学が主催という堅苦しいイメージがありますが、気楽な形で登壇者もみなさんも楽しんでいただければと思います。申し遅れましたが、私、本日の進行を務めさせていただきます北九州市立大学の南と申します。よろしくお願いたします。

では、さっそく、第1ラウンドです。このあと自己紹介を兼ねてお話をいただくこととなりますが、いきなり核心に触れる中身です。今シーズンのギラヴァンツ北九州の見どころと課題。ピッチの上でのことや経営に関すること、いろいろあろうかと思っております。それらを総合的に捉えていただいて、各番記者の方がどのようにお感じになられているかお話いただきたいと思います。

それではまず浅野さんのほうからお願いいたします。

■毎日新聞小倉報道部記者 浅野 翔太郎 氏：

毎日新聞の浅野と申します。よろしく
お願い申し上げます。私のほうから見ど
ころと課題ですが、発進と発信をキーワ
ードとして挙げました。まず「発進」で
す。今季の戦術の部分で、まだトレーニ
ングマッチ数試合とニューイヤーカッ
プ、練習からしか見ていませんが、発進
というのを挙げたいと思います。今年の
ギラヴァンツの原田監督が目指すサッ
カーが柱谷さんと違うのはボールを奪
いにいくところ。どこでプレスを仕掛け
るか。柱谷さんのときは引いて守ってい
るパターンも多かったですが、今年ほど
どこでプレスを仕掛けるか、かなり一生懸
命に練習の中に取り入れてやっています。
ここで行くというところ、守備の発
進の場面。さらに、攻守の切り替えのタ
イミングで、前に進み出すところ。この
ときの選手の動きがまた去年と違って
くると思います。去年はサイドバックや
ワイドのポジションが固定されていま
したが、今年は4バックというよりも2
バックに近く、センターバックとボラン
チを残して、攻撃の動き出しというのを注
目してほしいというのが見どころだと思
います。

そのあとの「発信」というところですが、
これはやはり新しいスタジアム、新しいカ
テゴリーで、新しい監督と選手が入って
きました。すでにラグビーの試合が行われ
ましたが、メディアでもかなり話題になっ
て発信しています。クラブであったり、選
手個人であったり、メディアであ
ったり、ファン・サポーターが、どれだ
け北九州の魅力、ギラヴァンツの魅力
を発信できるか。それを多くの人に広げ
られるかが見どころですし、今年は選手
たちもSNSで非常にたくさんの一次情
報を発信してくれています。僕らが伝え
るよりも実のある情報かもしれませんし、
僕らもそれに負けないように発信してい
きたいと思います。

課題については、書いたままです。やは
り新しいスタジアムができて、この街に
Jのクラブがある幸せをこの地域にどれ
だけ広げられるか。これは本当にクラブ
もそうですし、選手もそうですし、メ
ディア、サポーターのみなさんも、サッ
カーがあまり詳しくない人であったり、
サッカーに興味がないという人たちにと
ってギラヴァンツのすばらしさを伝え
ることができるかどうか今年のカギに
なるかなと思います。



今季のギラヴァンツの見どころ・課題

毎日新聞記者 浅野 翔太郎さん

【見どころ】

- " 発進 " と " 発信 "

【課題】

- この街にJクラブがある幸せを、
地域にどれだけ広げられるか

■J's GOALライター 上田 真之介 氏：

Jリーグ公認ファンサイト「J's GOAL」の北九州担当の上田です。いま浅野さんが「発進」という話をされましたが、私は逆に最後のところで、諦めないサッカーというところを挙げさせていただきました。去年は一番最後の踏ん張りが効かなくて点を取られてしまった試合が多く、それが降格の要因にもなってしまったところです。逆にギラヴァンツが強いときというのは、最後の5分、10分で点を取って勝つというのが、上位に入ったシーズンもそうですが、そういうことが多かったです。今年は最後まで諦めないサッカーというのは監督も言っていますので、しっかり見て欲しいなと思います。

若手選手の活躍というのは課題のところにも通じますが、若い選手がかなり頑張ってくれてくれると思います。その一方で中堅選手には頑張ってもらいたいなと思います。今年はかなりベテランの選手と若い選手の年齢の幅が広がって、20歳くらい中で違う形になっています。

真ん中の選手たちが、しっかりとベテラン選手と若い選手の繋ぎ役になってほしいと思っています。例えば、井上翔太選手や加藤弘堅選手。こういった選手たちがしっかり繋ぎ役として活躍できるかが課題だと思います。



今季のギラヴァンツの見どころ・課題

J's GOAL 上田 真之介さん

【見どころ】

- 諦めないサッカー
- 若手選手の活躍

【課題】

- 真ん中世代の踏ん張り

■J:COM「ギラ☆channel」ナビゲーター 篠原 けんじ 氏：

J:COMで「ギラ☆channel」という番組を担当させてもらっております篠原けんじ、シノケンです。見どころはセットプレーというところなんです。去年は福田選手が入ってきて、福田選手にボールを集めているという印象がありました。今年は水永選手のヘディングが強いということと、高さのある小松選手がいるので、高さに強い選手が揃っていますので、セットプレーからの得点が増えてくるんじゃないかなと思います。楽しみだと感じています。

新スタジアムができたということで、今シーズンはいろんな発見ができるんじゃないかなと思います。先日、テレビの取材で馬島に行かせてもらいましたが、渡船で行くんですが、渡船で行くまでのこの道中、船から見るミクスタがめちゃくちゃカッコイイんです。北九州に育ったので、北九州にこんな立派なスタジアムがあるということにまだ違和感があります。こんなものが北九州に今まであったのだろうか。で、本当にあるわと。建設途中に新幹線から見えるミクス

タとか、今回の渡船から見るミクスタ、いろんなミクスタが見られて、いろんな角度から写真を撮って SNS にアップしたくなるなど。

本城でも自分のお気に入りの場所や、ここをこう通って会場に行くというか、お決まりの場所やお決まりのルートがありました。ミクスタにはまだ来慣れていないので、どういうルートで行くのか、どこが好きなのかなというのがどんどん発見されるんだろうなと思います。いろんな発見があるのが魅力だなと思います。

課題というところでは、本城のときに毎試合ホームゲームのときにステージで喋らせていただいています。今年はどうなるかは分かりませんが、生で見るエンターテインメント性。生で見るのはすごく楽しみではありますが、いろいろ街頭インタビューをしたときに、見に行ったことがないとか、建設されているのを知らないという方がかなりいました。そういう方たちが今年初めてサッカーを見に来ることが多いと思います。生でサッ

カーを見るのが楽しいのは当たり前なんです。それだけに楽しいとしないようにしたいと思います。去年は私は生で見ながら、オンデマンドで解説を聞きながら試合を見ていました。私もサッカーをやっていたわけではないので、サッカーを知らないの、解説が必要だと思っています。そういう意味ではテレビを家で見るほうが知識が入ってくるという面もあります。生で見ながら解説が聞ける、リプレイが好きなきに見られる。そういういろんな面で楽しめる、家で見るよりも生で見た方がいい、生で見ながらタブレットで解説を聞きながら見るサッカーも楽しいよという、生を超えるエンターテインメントが提供できたらもっとも観客動員数が増えるんじゃないかなと感じています。

■西日本新聞社北九州本社記者 諏訪部 真 氏：

西日本新聞の北九州本社でギラヴァンツ北九州を担当しています諏訪部です。去年の秋から新しく担当し、シーズン途中からですので、まだ2回や3回くらいしか勝っている試合を取材できていませんので、今年もっとたくさん勝った試合を取材できればと思います。

私が挙げさせてもらったのがこの3点で、上2つが課題に関連するところで、下の一つが見どころに関連するところ。課題の一つはやはり入場者数が、去年、一昨年と3千人台でJ2で最も少なかったのが実際にあります。選手たちに街に出ようというところで、今日もお昼に商店



今季のギラヴァンツの見どころ・課題

J:COM「ギラ☆channel」 篠原けんじさん

【見どころ】

- セットプレー
- スタジアム新発見

【課題】

- 生を超えるエンターテインメント性

街でチラシを配っていたと思いますが、そういうように市民に身近に感じてもらう機会をもっともっと作っていくことが必要だと思います。そういうことでサッカーにあまり興味がなかったという人も取り込める成果が考えられます。J3は試合数が若干少ないので、シーズン中は選手のコンディションが重要になると思いますが、ある程度シーズン中でも街の中に出て「素」が見えるようなトークイベントなどが広く開催できるようになればいいのかなと思います。J3に降格している今年は巻き返しの新しいファンを掴むチャンスでもあると思います。

トレーニングの話ですが、去年、シーズンが終わったあとにいろんな方に聞くと、緩い部分があったと。去年を知っている選手は、去年よりもかなりきついとやっているようです。先ほども話がありましたが、終盤に追いつかれてしまうような展開は減ってくるという形で、トレーニングの成果が現れてくることにすごく期待しています。

■NHK 北九州放送局ディレクター 中村 歩 氏：

こんにちは。NHK 北九州放送局でディレクターをしている中村と申します。去年、私がテレビに出ると、降格の話しかしないということで、チャンネルを変えるという方が多かったのですが、今年は昇格の話をしますので、チャンネルは変えないでください。よろしくお願いします。

今季の課題ですが、みなさんも仰っていますが街へのサッカー文化の浸透です。僕は仕事柄、街中でインタビューをしますが、ギラヴァンツを知らない人がときどきいます。若い女性の方で意外と知らない人が多いです。「降格したのを知っていますか」と聞くと、まずギラヴァンツが分からない。「サッカーチームですよ」と言うと、「あー」という感じです。アウェーの試合に行くと、アウェーではみんな知っています。今日は試合で、うちの



今季のギラヴァンツの見どころ・課題

西日本新聞記者 諏訪部 真さん

- 選手たち、街に出よう
- 「降格」はある意味チャンス
- 「去年よりきつい」トレーニングの成果は？



チームは何位でとか、選手の名前が出てくる。そういう違いはプレーしている選手も感じると思います。去年は踏ん張れない試合がありました。そういうところで踏ん張れる力は愛されているチーム、この北九州をJ1のある街にしたいという思いが最後の踏ん張りになると思います。そのあたりは僕らも伝えきれなかったのは反省しているところで、課題に挙げました。

見どころは勝利に包まれるミクスタです。ラグビーの試合に取材に来ましたが、

すごくたくさんの方が駅からぞろぞろと歩いてくる。それだけで今日何かがあるんだなとすごく感じます。これがもし毎週、毎試合、ギラヴァンツのユニフォームを着た人たちがぞろぞろ歩いてくるようになれば。今年のチームはアグレッシブなサッカーを見せてくれると思いますので、勝った試合で、サポーターの方々が、今日の試合が良かったねと言いながらにこにこしながら帰っていると、それだけで近いし今度見にいこうかなと思ってもらえると思います。スタジアムの取材でも見ましたが、試合をどの場所からでも楽しんで見られるので、いっぱい楽しんで帰りましょう。来年の今頃はまたJ1に上がる話ができたらいいなと思います。

今季のギラヴァンツの見どころ・課題

NHK北九州局ディレクター 中村 歩さん

【課題】

- 街へのサッカー文化の浸透度

【見どころ】

- 勝利に包まれるミクスタ

■北九州市立大学地域戦略研究所教授 南 博：

ありがとうございます。それぞれの視点で重要な課題の指摘や、楽しい見どころのお話をいただきました。いま登壇されている記者の方々は、来週以降はフロアの皆様がお座りになられている側の席から監督などに色々な質問をされるという立場になるわけですが、浅野さん、どうですか？ 記者さんとして、この記者会見室は。

■毎日新聞小倉報道部記者 浅野 翔太郎 氏：

緊張しますね、ここの席上は。普段は下からなので、ものすごく緊張します。やっぱり視線が厳しいですね。

(3) 第2ラウンド： 特に注目する選手3人！

■北九州市立大学地域戦略研究所教授 南 博：

それでは第2ラウンドに進みます。今年のギラヴァンツ北九州は30人の選手がいまのところ所属しております。もちろん全ての選手に大いに期待しているところですが、あえて注目している選手を3人、かなり無理な問いだなどは思いましたが挙げていただきました。それでは今度は中村さんのほうからお願いいたします。

■NHK 北九州放送局ディレクター 中村 歩 氏 :

注目する選手3人ということですが、単純に好きな選手を書きました。FWの小松塁選手、GKの高橋拓也選手、MFの花井聖選手です。小松選手はもちろんプレーは当然期待していますが、ご存じだとは思いますが、ものすごくいい方なんです。こういうことがありました。試合で使ったスパイクをプレゼント用に寄付することがあったんですが、そこにサインをしてくださいということだったんですが、小松選手はそのスパイクを見て、「ちょっと1回持って帰っていい？」と言う

んです。「なぜ？」とギラヴァンツの広報が聞くと、「家に持って帰って、きれいに磨いて、インソールも入れて、完璧に使える状態で渡したい」と。僕がそこまでしなくてもと言うと、「せっかく渡すなら、気持ちよく使える形で渡したい」ということで持って帰られました。もしそのスパイクを手に入れられた方がいらっしゃったら、大変いいものですので、大事になさってください。

GKはもちろん山岸選手は僕が言わなくても注目選手なのであえて外しました。高橋選手もいい人で、すごく遠くから手を振りながら「こんちわー」と言って近寄って握手してくれる人です。プレーとしても光る選手なので、出場機会は分からないですが、出るチャンスはたくさんあると思います。そこでチェックしたいなと思います。

花井選手は子どもっぽいかわいい選手ですが、今年はプレーでおそらくシーズンのどこかで中心になる。チームの中心になるんじゃないかなと僕は思っています。そこですごく天性のものを持っている選手ですので、自分の良さを出せたらチームがものすごいことになると思いますので期待しています。

■西日本新聞社北九州本社記者 諏訪部 真 氏 :

私はこの3人を挙げさせていただいたんですが、中村さんがあえて外されたという山岸選手。みなさん本当に期待が大きい選手だと思います。原田監督が欲しいと言って引っ張ってきた選手だそうでして、点は取らないといけませんが、取られなければ絶対に負けることはないの、この山岸選手を挙げさせていただきました。ディフェンスラインのコーチングにも定評があり、ミクスタのゴールラインと最前列は観客席から近いので、どんな声が聞こえてくるのか、非常に楽しみなところだと思っています。

特に注目する選手3人！

NHK北九州局ディレクター 中村 歩さん

- FW 小松 塁 選手
- GK 高橋 拓也 選手
- MF 花井 聖 選手

特に注目する選手3人！

西日本新聞記者 諏訪部 真さん

- GK 山岸 範宏 選手
ゴールキーパーが安定しているチームは強い。
点を取られなければ負けない。
- MF 茂 平 選手
J初挑戦。がむしゃらなプレーがチームに新風を送る。
- DF 西嶋 弘之 選手
堅実な守りを今季も。

茂選手は今年からギラヴァンツにきた選手ですが、Jリーグ初挑戦になりますが原田監督がニューイヤーカップでもよく使っている選手です。取材した中ですごく印象に残っているのは、「初めての挑戦で怖いものはない、失うものはない」と。「がむしゃらにやっています」という話でしたので、出直すチームにいい影響を与えてくれるんじゃないかなという意味で注目選手に挙げさせてもらいました。

西嶋選手はDF陣を代表して挙げました。攻撃に関して実績のある選手が多く抜けてしまったというのとは対照的に、守りの面に関してはある程度安定したメンバーが、福田選手も含めて残っていると思いますので、そこで力を発揮してもらえたらと思います。

■J:COM「ギラ☆channel」ナビゲーター 篠原 けんじ 氏：

特に注目する選手 3 人はこちらを挙げさせてもらいました。まず一番上に池元友樹選手ですが、ベタかなと思いつつもあえて挙げさせていただいたのは、どれだけ勝てるのかということとは別に、地元の選手の池元選手がどれだけ活躍できるのか。どれだけ点を取ることができるのか。それも別の軸として楽しみだなというところがあります。水永選手は、キャンプのときに取材させてもらったときに、いろんな選手からいじられていたところ、それが宮崎出身で宮崎弁がすごいというところで、こういうムードメーカーが新しく来たというのがいい雰囲気になるんじゃないかなと思います。

あと山岸選手。こちらに合流する日に僕はたまたま博多駅を歩いているときにすれ違ったんですよ。僕は、近くで「あ、山岸」って言っちゃったんですよ。やばい呼び捨てにしてしまったなど。普段は有名人に会っても追いかけてりしないんですが、山岸選手を見て興奮して追いかけて、「ギラヴァンツ北九州をよろしくお願いします」と大きい声で言っちゃったんですよ。そのときに「もちろんそのつもりです」と言われた、その一言が、やっぱり決意がすごいなと思ったんです。こういうベテランの選手がチームに入ってきたときに、若い選手に影響を与えるんじゃないかなと言われますが、この前、キャンプでは、GKの3人でランニングをしていたんですね。目の前を通るときに、中山開帆選手がぼそぼそと言ったあとで、山岸選手が「いつかはうまくなるよ」と言っていたんですよ。これはおそらく、開帆選手がどうやったらうまくなるか聞いていると思うんですよ。こういう若い選手がベテラン選手に質問しているというのが見えて、何か吸収しようとする構図ができていたんだなと感じました。ということで、山岸選手を挙げさせていただきます。

■J's GOALライター 上田 真之介 氏：

この3人を挙げました。茂選手と池元選手は名前が出ちゃいましたが、茂選手はやはりニューイヤーカップの鹿児島での試合で活躍していた印象が残っています。球際にも強いですし、ボー

特に注目する選手3人！			
J:COM「ギラ☆channel」 篠原けんじさん			
• FW	池元	友樹	選手
• FW	水永	翔馬	選手
• GK	山岸	範宏	選手

ルを散らせることもできます。いい起点になってくれると思います。背番号が7番です。ギラヴァンツの7番はゲームを作る選手が担ってきた番号ですので、7番の継承者という意味でも期待しています。池元友樹選手は、個人的な期待はキャプテンぶりがどうなのかなというところでした、背中で引っ張るタイプでもありますし、そんなに口数が多いわけではないので、どういうキャプテンの形を見せてくれるのかなと期待しています。

中原秀人選手は帰ってきてくれました。一度、特別指定選手でギラヴァンツのプレーヤーになってくれていましたが、残念ながらアビスパ福岡に行き、悲しいとも思っていたところでしたが、やっと戻ってくれましたので、精一杯応援したいと思います。本当に視野が広くてどこにでもボールを出せて、精度も高い選手です。期待したいと思います。

■毎日新聞小倉報道部記者 浅野 翔太郎 氏：

梶原選手は今年3年目です。アカデミー出身です。J3という舞台だということもありますが、アカデミーの選手がリーグ戦に出るのはこのクラブにとっての大きな歴史の第一歩になると思います。今年はまさにそのチャンスだと思います。というわけで梶原選手。ルーキーの紀藤選手も入って、今まで一番下の末っ子みたいな感じでしたが、練習場での雰囲気も変わっています。是非練習場に見にいらしてください。

井上選手はたぶん柱谷監督の退任とともに移籍すると思ったんです。柱谷さんが監督になって途中から北九州に来て、もしかしたらいなくなるなと思ったんですが、残った上に、10番を付ける覚悟をしてくれました。10番は特別な番号で、先ほど話した発進の部分、攻守の切り替えの部分で、彼がどういう働きを見せるか。これはチームの大きなポイントになるのかなと思っています。

3番目は本山選手。現在はケガをしています。まだリハビリをしている最中ですが、復帰は夏以降になると思います。ただ、やっぱり本山選手が北九州に帰ってきてくれて、やはり北九州市出身では特別な選手だと思います。新しいスタジアム、そしてギラヴァンツ北九州での本山選手の初ゴール。チームにフィットしてそれを決める頃に、もしかしたらそれがJ2昇格のゴールになるかもしれません。というわけで、引き続き本山選手に、ケガを治して活躍してほしいと思います。

特に注目する選手3人！

J's GOAL 上田 真之介さん

- MF 中原 秀人 選手
- MF 茂 平 選手
- FW 池元 友樹 選手

特に注目する選手3人！

毎日新聞記者 浅野 翔太郎さん

- DF 梶原 夕希也 選手
- MF 井上 翔太 選手
- MF 本山 雅志 選手

■北九州市立大学地域戦略研究所教授 南 博：

ありがとうございます。この質問に関しては、私も番外と言うことで回答させていただきます。

一人目はDFの福田選手です。先日、今季からの新加入選手・スタッフの記者会見が公開で行われましたが、その場で、J1の大宮から北九州に「骨を埋める気持ちでやってきた」ということを熱く語っていただきました。その心意気と、昨シーズン福田選手の期限付き加入以降はディフェンスの面でいい試合が増えましたので引き続き期待したいところです。

川島選手はとにかくシュートチャンスを作る、ボールを前に運ぼうという気持ちがすごく感じられて、なおかつ非常にテクニックもあるということで、去年と今年では役割は少し変わってくるかもしれませんが、大いに期待したいと思っております。

3人目は八角選手です。守備の面で相手のチャンスをなんとか摘み取ろうと、味方のピンチをなんとか挽回しようとする姿勢の強い選手だと感じておりますし、副キャプテン、選手会長ということで、ピッチ外でも選手をまとめる大きな役割を果たされるのではないかなと思います。この3人を注目したいと考えております。

今回私も含めて6人に3人ずつ挙げていただき、のべ数で言えば18人、純数で言うと15人の名前が挙りました。もちろん30人全員に期待していますが、実は今日の発言内容は何も登壇者の間で調整はしておりません。それぞれの観点から見ていただいたわけですが、自由な発想で見ていただいて、それだけたくさんの人材がギラヴァンツの選手に在るということであろうかと思っております。もちろんここに挙げた選手以外にも大いに期待したいと思っております。

(4) スペシャルゲスト 桑原裕義氏に聞く！

■北九州市立大学地域戦略研究所教授 南 博：

それではここで、スペシャルゲストにご登壇いただきたいと思っております。桑原裕義さんです。

画面に映っている写真は2009年の写真です。キャプテンマークを付けて先頭を歩かれているのが桑原さんです。このときはJリーグに上がる前ですので、本城陸上競技場は放送席の建物や風除けなどがない状態です。こういうときにまさにチームの主軸としてご活躍を頂いた選手です。

簡単にご略歴を紹介しますと、ポジションはMFやDFです。1994年から2003年まではサンフレッチェ広島、その後はアルビレックス新潟と、J1の広島、新潟で主力選手として活躍されました。2006年、当時九州リーグのニューウェーブ北九州に加入していただきました。2007年末に九州リーグに優勝してJFLへの昇格を勝ち取られたわけです。2009年、JFLで4位になりJ2加入を決めるわけですが、そのときもキャプテンとして昇格を決められました。まさに北



特に注目する選手3人！

	※番外	北九州市立大学	南
• DF	福田	俊介	選手
• MF	川島	大地	選手
• MF	八角	剛史	選手

九州の昇格を担って来られた選手です。2010年と2011年のJ2においても特に守備の面で中心的選手としてギラヴァンツ北九州をけん引された選手でございます。現在は広島を拠点にサッカー解説者としてもご活躍で、明日もJ2の山口と福岡のDAZN中継は桑原さんが解説なさるということで、大変ご活躍になっておられます。

この写真は2009年当時の写真です。私の中でのイメージはまさにこのような感じで、背中で引っ張る。先程、池元選手もそのようだという話がありましたが、そういうキャプテンでいらしたのと非常に強く印象に残っております。

桑原さんにお伺いしたいのは、一番重要なポイントは過去2度昇格させたところですが、まずは、新スタジアムの感想をお聞きしたいと思います。今日は少し早めに来ていただき、ミクニワールドスタジアム北九州を見学いただきました。スタジアムの印象はどのようにお感じになりましたでしょうか。

■サッカー解説者 桑原 裕義 氏

久しくボールは蹴っていませんが、久しぶりにボールを蹴りたいなと心から思ったスタジアムですし、やはり、正直言えば、みなさん思われていることだと思いますが、J3でスタートするというのは残念かもしれません。それは現実ですし、1年でJ2に戻り、J1まで短い期間で上り詰めて欲しいなと思います。その間にバックスタンドの増設席ができる、いろんな環境が整う、番記者の方が話された内容が現実になっていけば、間違いなくここ数年でJ1までギラヴァンツ北九州が上り詰めていくことは可能だと思います。すごく楽しみだなという感覚になりました。



■北九州市立大学地域戦略研究所教授 南 博 :

まさに桑原さんは改修前の本城のときから、北九州を担って来られたわけですが、今日ご登壇の中で、特に上田真之介さんはかなり長く取材されておられると思いますが、その頃の桑原さんの印象というのはどのようにご覧になっておられたでしょうか。

■J's GOALライター 上田 真之介 氏 :

一番の印象は、いつまで走っているなという印象があります。

ひとつ前の画面にあった写真ですが、練習が終わったあとの写真ですが、水原大樹さんと一緒に走っていらっしゃるんですが、取材しようと思っていつまでの走っていてなかなか終わらない。GKだった水原選手は早めに切り上げていても、桑原さんは10周くらい走っていていつも一番最後の取材になっていました。

■北九州市立大学地域戦略研究所教授 南 博：

私も先日、広島で桑原さんに事前の打ち合わせに伺ったのですが、そのときも桑原さんからは水原さんの名前が出ました。九州リーグ時代、あるいはJFLのときから水原さんと桑原さんでスタジアムについていろいろお話されていたと伺っています。そのお話をしていただけますか。



■サッカー解説者 桑原 裕義 氏

僕が北九州に来たときに、新北九州空港ができるとか、スタジアムの話も少し出ていたので、僕たちが結果を出すことによって、スタジアムの話が進んでいくぞと。いろんな方のバックアップがあってのことですが、少し時間は掛かりましたが、JFLを2年でJ2まで昇格できて、その間に、いろんなことが本当に急速に進んだと思います。

水原はいろんな経験を彼もしてきて、彼もGKという一つのポジションで、出られないチームも多かったみたいですが、その中でも常に全力でやる。本当にサブメンバーの気持ちさがすごく分かる選手で、そういったところも、出ている選手だけがコンディションもメンタルも充実していれば結果を出せるスポーツではないので、ほかのスポーツもそうですが、どうやってチームをひとつにしていくか。まとめていくとかではなくて、みんなのモチベーションをどうやって保っていくか。保つだけじゃなくて上げていかないといけないので、ポジション的に近いこともあって、そういったところは走りながらいろんな話をしました。

■北九州市立大学地域戦略研究所教授 南 博：

先日、ちょっとお伺いしたところでは、桑原さんと水原さんは、自分たちは年齢的に新しいスタジアムでプレーできないかもしれない、あるいはプレーできないだろうと。ただ、スタジアムができるためには自分たちの頑張りが必要なんだということで、北九州のために頑張っていたという話をいただき、非常に感激いたしました。

先程も申し上げたように、2度昇格を経験されているわけですが、もし上田さんのほうから桑原さんに当時にこととまでご質問があればお願いします。

■J's GOALライター 上田 真之介 氏：

JFLからJ2に上がっていくときですけど、途中かなり、苦しい時期もあったと思いますが、キャプテンとしてはどのような形でチームをまとめていらっしたのでしょうか。

■サッカー解説者 桑原 裕義 氏

当時の取材でもそういう質問は多かったですが、キャプテンをやったとしても、キャプテンマークを巻かなくても、僕としてはやることは変わらなかったです。結果がどうであれ、勝っても負けても、内容が悪くて勝ったとしても、やはり、そのときの状況でいいものはいい、悪いものは悪いと伝えていこうと。それは心がけていたというか、広島でキャリアを始めた頃から先輩か

ら自然と学んだことであり、そういう意味では気をつけていたのはメリハリを付けていこうところでは。

■J's GOALライター 上田 真之介 氏：

もう1点伺いたいのですが、2010年、J2最初の年はすごく苦しいシーズンで最下位に終わりましたが、翌年はみなさんの大活躍で8位にまで上がりました。ちょうど今年もそれに似ている状況で、前年が最下位で、またここでリスタートというところでは。そういうときにチームにはどういう声掛けをすることが良いのでしょうか。例えば今年のキャプテンの池元選手にアドバイスをするとすればどういうことになるのでしょうか。

桑原さんに聞きたい！

- 新スタジアムの感想
 - 九州リーグ、JFL、Jリーグでのニューウェーブ/ギラヴァンツでのプレーで印象に残っていることや、北九州の街の思い出
 - 過去の経験上「昇格」に必要なことは何か
 - 今年のギラヴァンツへの期待、見どころ
- etc.

(写真出典) ニューウェーブ北九州 MDP
2009年6月21日



■サッカー解説者 桑原 裕義 氏

急激には人は変わらないですし、やることも急激に変えても、周りから見てもたぶんブレてしまっているというような不安を与えてしまうと思うのですが、とにかくいい結果を信じてやり続けることだと思います。

細かいところは原田監督のもと、チーム、選手、スタッフがやっていかないといけないんですが、ここに来られている方々も、まず今年はJ2に復帰するというのを信じて、バックアップしてあげてほしいです。それが一つになってこそ、いい結果が得られると思います。

■北九州市立大学地域戦略研究所教授 南 博：

昇格に必要なことということでもお話いただきましたが、チームに対して、あるいはサポートする側へのご意見もありましたが、今年、ギラヴァンツは1年でのJ2復帰を目標に掲げているわけですが、過去のご経験上、あるいはサッカー解説者として幅広く俯瞰されている中で、昇格に必要なことを改めて教えていただければと思います。

■サッカー解説者 桑原 裕義 氏

僕は教えるというような偉い立場ではありませんが、本当に信じてやり続けるだけだと思います。結果というのはやってみないと分からないですし、相手があつてのことですし、でも自分たちが絶対に勝つんだと、今年だったらJ2に復帰するんだという気持ちを持ち続けて、もちろんサブの選手、サブにも入れない選手もそういう気持ちを持ち続けて1シーズン戦い続けることができれば結果は出ると思います。

もしかしてという結果もあるかもしれませんが、次の課題が見えてくると思います。とにかく高い目標を持って、それを短期的な目標であったり、長期的なものもあると思いますし、個人的

なもの、チームとしてのもの、フロントを含めてのものもあると思いますが、信じてやり続けることがすごく大事だと思います。

■北九州市立大学地域戦略研究所教授 南 博：

ありがとうございます。桑原さんは今でも北九州にご縁があり、先日は北九州マラソンも走られて非常にいいタイムだったと伺っております。桑原さんにとって北九州という街はどういう思い入れがある街で、また選手にとってどういうサポートをしてほしいかというのがあれば教えていただければと思います。

■サッカー解説者 桑原 裕義 氏

ここにおられる番記者の方も、たぶん他の地域でサッカーだけじゃなく、いろんなスポーツに携わって来られた方だと思いますし、南さんもそうだと思いますが、すごく北九州は、言葉が合っていないかもしれませんが、すごくサッカーに関しては恵まれていると思います。スタジアムにしてもそうですし、やはり、こんなに短期間で、結果の部分では時間は掛かりましたが、スタジアムができるというのはなかなか例がないと思います。いろんなことをやろうと思えばできるという証明だと思います。結果を出しながら、いろんなものが伴ってくるということも必要だと思いますが、僕がいる地元の広島はここ何年かでJ1で3度の優勝をしても、僕が所属していた頃からスタジアム問題が動いていないんですね。やはりベテランとして30代半ばで頑張っている選手もいますし、その人たちをサッカー専用スタジアムでプレーさせたいという声もありましたが、未だに着工やそういう話にはなっていない。なんとなく場所が決まってきたかなというところで、比べても仕方がない部分かもしれませんが、本当に北九州は恵まれていると思います。どんどんいろんなものを番記者さんたちのお話にもあったように発信したり、サッカーで、スポーツでこの街が盛り上がっていく可能性はもっとあると思いますので、みなさんの協力のもとで、もちろん、ギラヴァンツ北九州をバックアップしてもらいたいと思いますし、サポートし続けていただければなと思います。

■北九州市立大学地域戦略研究所教授 南 博：

ありがとうございます。今年のギラヴァンツへの期待のところはこのあとのところでも伺いたいと思います。まずはご登壇いただいた桑原さんへ、みなさん拍手をお願いいたします。

(5) 第3ラウンド： 2017 シーズンJ3 最終順位予想

■北九州市立大学地域戦略研究所教授 南 博：

それでは最後の質問です。2017年シーズンの最終順位です。1位から17位までありますが、時間の関係もあり、1位から5位までの予想をしていただきました。これについては、一斉にフリップを出していただきたいと思います。それでは順位のほうを出してください。

北九州の順位だけを見ていきますと、浅野さん、上田さん、篠原さん、諏訪部さん、中村さんが1位予想です。桑原さんが2位予想です。今年からは2位までのチームがJ2に自動昇格にな

ります。アンダー23のチームが上位に入った場合に例外の規定もありますが、基本的に2位以内に入れば1年でのJ2復帰になるわけです。

それではお一人ずつ、ギラヴァンツや他のライバルとなるチームのことも含めてコメントをいただきたいのですが、浅野さんからよろしくお願いいたします。

今季のJ3最終順位(1~5位)予想!

毎日新聞 浅野さん	J's GOAL 上田さん	J:COM 篠原さん
1位 北九州	1位 北九州	1位 北九州
2位 鹿児島	2位 長野	2位 栃木
3位 長野	3位 鹿児島	3位 長野
4位 ガンバ大阪U-23	4位 栃木	4位 鹿児島
5位 YS横浜	5位 セレッソ大阪U-23	5位 鳥取
西日本新聞 諏訪部さん	NHK北九州 中村さん	サッカー解説者 桑原さん
1位 北九州	1位 北九州	1位 栃木
2位 鹿児島	2位 鹿児島	2位 北九州
3位 栃木	3位 長野	3位 富山
4位 長野	4位 栃木	4位 鹿児島
5位 秋田	5位 秋田	5位 長野

■毎日新聞小倉報道部記者 浅野 翔太郎 氏:

まず簡単にJ3の説明も含めてなんですが、ギラヴァンツの1位は至上命令です。鹿児島ユナイテッドFCですが、ここもスタジアムの問題があつてJ2に上がれません。北九州が辿ってきた道で、昇格する力がありながらスタジアムがないから上がれないというのを体験していただきたい。そして、AC長野パルセイロですが、J3は2位のチームがライセンスがない場合でも3位のチームの繰り上げではなく、J2から降格するチームが1チーム減るだけです。美濃部さん、アベノブ(阿部伸行)さん、新井純平さん、テラ(寺岡真弘)さん、もう1年悔しい思いをしていただきましょう。ガンバ大阪U-23は今年は宮本ツネ様(宮本恒靖監督)がこのスタジアムにやってきます。監督として戻ってきました。去年東福岡にいた高江(麗央)とか、堂安(律)とか、呉屋大翔とか、若い有望な選手がたくさんいます。ぜひ注目して見て下さい。Y.S.C.C.横浜は希望的観測というか、これまでずっと最下位でした。GKで入った高橋選手もいたことがありますが、ここはダークホースになってほしいです。樋口監督が2年目ですがダークホースになるんじゃないかなと思います。大卒でいい選手もいるので注目しています。

■J's GOALライター 上田 真之介 氏：

上位は浅野さんとは変わらないですが、2位3位のところではあるんですが、長野はやはりJ3の戦い方を知っていますし、長野のスタジアムは本当にいいスタジアムがあり、一体感があります。アウェーに行った選手がびびってしまうというくらいなので、恐い存在だと思います。鹿児島は三浦泰年監督が行っていますが、かなり球際に厳しいサッカーをやっています。上がってきそうだなという印象があります。栃木は選手が抜かれているので今年は厳しいかなというところはあります。アンダー23のチームを出してきましたが、セレッソ大阪はトップチームがいい補強をした分、いい選手が溢れてくる。レベル高いサッカーをやるのではないかなと思いますので、ここまで来るのかなと思います。ギラヴァンツは絶対に1位を死守してほしいですね。

■J:COM「ギラ☆channel」ナビゲーター 篠原 けんじ 氏：

ここに出てきてこんなことを言っているのか分かりませんが、J3のことは良くは分かりません。ただ、ギラヴァンツ北九州の今年のメンバーを見ると、めちゃくちゃ強いんじゃないかなという思いがします。その感覚は去年もありましたがこういう結果になってしまって、けれど、今年もやはり変わらずいいチームで、いい選手が揃っているというところで、もしかしたら、子どもみたいなことを言いますが、全勝できるんじゃないかなと思っています。なので、ギラヴァンツが1位です。

2位、3位、4位は上位に入ってきているので並べました。鳥取を入れたのは、順位もそんなに良なくて、けれど、最近、僕、仕事で鳥取に行ってきましたが、いいところでした。アウェーで行ってみたいと思うので5位に入れてみました。とりあえずギラヴァンツ北九州には1位になってほしいのと、全勝できるんじゃないかなというところで、1位にさせていただきました。

■西日本新聞社北九州本社記者 諏訪部 真 氏：

私もかなり希望を込めた意味もあって予想しましたが、1位のギラヴァンツはどうあってもこうなければいけないと選手にもフロントにもプレッシャーは懸っていると思います。2位の鹿児島ですが、九州のチームで上位争いになればいいなという希望もあります。鹿児島で今年はキャンプをしています。鹿児島との試合もありましたし、ニューイヤーカップの取材に行った際に、鹿児島とジュビロ磐田が試合をしましたが、サポーターの方がすごいんですね。福岡だったらアビスパもありギラヴァンツもありというところですが、鹿児島は1チームだけですので、みなさん盛り上がりすぎて、そういう意味でも鹿児島で試合があるときはこちらからも大挙して応援に行かないといけないんじゃないかなと思います。

3位以下はJ3のことはよく分かりませんでした。長野はギラヴァンツにいた選手が何人も行っていますし、秋田は杉山さんが監督になられて開幕の相手ですが、日本で指揮を執るのが初めてで、海外のチームで指揮を執ってきていたので、開幕戦の相手でもありますので、いい戦いをしてくれるのではないかなと思ひましてこういう予想にしました。

■NHK北九州放送局ディレクター 中村 歩 氏：

ギラヴァンツが1位なのは、これしかないでしょう。ギラヴァンツが勝ち点を総取りするので、あとは団子になるかなというところで、あとは勢いの順で並べました。鹿児島は勢いがあり強か

ったです。

■北九州市立大学地域戦略研究所教授 南 博：

ありがとうございます。最後に桑原さん、お願いいたします。

■サッカー解説者 桑原 裕義 氏

今までの昇格は僕も経験させてもらっていますが、ギラヴァンツの上がり方は、ギリギリのところ、JFLからJ2も4位でした。本当にミラクルでしたから、そういうものが今年のJ3でも見られるのではないかなという期待を込めての順位予想です。

■北九州市立大学地域戦略研究所教授 南 博：

ありがとうございます。番記者の方、サッカー解説者でご活躍の桑原さんの目から見られて、1位から2位が期待できるというところで、ギラヴァンツの1年でのJ2復帰はかなり期待大なのかなと思います。

桑原さんからもお話がありましたが、ギラヴァンツが1位になるためにはやはり地域全体、それから何よりサポーターのみなさんの熱い後押しと満員のスタジアムが一番重要ではないかなと考えております。ぜひギラヴァンツにはそのような環境で試合をしてもらって、1年でのJ2復帰を成し遂げていただければと思います。

本日も用意させていただいた内容は以上です。登壇者の皆様、ご参加いただいた皆様、本日はありがとうございました。



(とりまとめ：上田真之介、 写真提供：東恭子、(株)ギラヴァンツ北九州)